

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱいの森

能ヶ谷西緑地だより

2025年6月1日号 232 号 能ヶ谷西緑地・樹の会

【6月の予定】

- ◆6月14日（土）（雨天翌日）
 - ・南斜面草刈り
 - ◆6月28日（土）（雨天翌日）
 - ・花広場草刈り
 - * 9:00 現地集合（9:00～11:30）
 - ◆6月7日（土）（10:00～12:00）
 - ・ヤママユ連・手作りカフェー
- 平和台集会所
問合せ：伊藤（735-8623）
どなたでも参加自由です。
作業には汚れても良い服装でおいでください。

※※※※※※

緑地だより

※※※※※※

5月11日（日） 曇り 参加者6名

今日の作業は、マンション側の斜面の草刈りでした。

土曜日が雨模様で日曜日に延期になり、足元が滑りやすいので慎重に作業しました。

11時に作業を切り上げて、「まちカフェ」についてFさんを中心にテーマなどについて皆で話し合いました。参加の企画書の提出締め切りが7月末日なので、テーマを「みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森」に決めました。企画書はFさんがグーグルで事務局に提出してくれます。

（設楽）



クサイチゴも、いっぱい実がつけました、おいしいです！

5月24日（土） 曇り 参加者10名

曇り空で、活動には丁度良いお天気の中、桜広場の梅の木剪定からはじめました。2年前から剪定をはじめてから元気になかった梅の木は、今年はたくさんの花を咲かせ、実も付けました。やはり剪定が大切なのでしょう。下から、横から眺めながら、植木に詳しいメンバーが「あの枝」「この枝はここから」とアドバイス。それに従い、2時間かけて鋏とノコギリでカット、すっかりスッキリした枝ぶりになりました。枝の風通しがよくなり、これで来年の花もたくさん咲いてくれると思います。

今日は桜広場の梅の木剪定で終わってしまったので、南斜面の梅の木は梅雨入り前に、次週臨時で活動します。

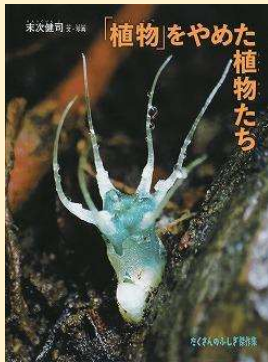
（片野）



ピンクのノイバラもまっさかり

【緑地を楽しむ本】

『「植物」をやめた植物たち』
末次健司 文・写真 福音館書店



表紙の写真もそうですがページをめくると色鮮やかな不思議な形をしたモノたちが現れます。キノコのようにもあり、イソギンチャクのようにもあり……。でも実はこれらは光合成をやめた植物たち。光合成をする必要がないので、緑色である必要もないということなのです。

ふつうの植物は土の中に根を張っていて、その根にキノコやカビの菌糸が入り込んでおり、それが土の中から窒素、リン、カリウムなどの肥料成分や水を集めて植物に提供している。そして植物はお返しに光合成でつ

くったでんぷんや糖分をあげている、という関係にあるといいます。ところが、光合成をやめた植物たちは、でんぷんや糖分を与えないどころかキノコやカビの菌糸を消化して自分の栄養にしているというのです。光合成を行う植物が菌類に報酬としてあげるでんぷんや糖分は、光合成でつくったすべての養分の2割にもなり、光合成をやめて菌類に寄生するようになった植物は、この高い報酬を避けるように進化したというわけです。

でも植物ですから、受粉し、果実もできる、タネも運ばせたい……。読んでいくと「『植物』って何？」という「？」が頭の中に渦巻くと思います。
(遠藤)

【やままゆ連・手作りカフェー】

お散歩

5月3日（土） 10:00～12:00

強風大雨雷の翌日、さわやかな晴天下、6人で散歩をしました。

西緑地の横の道を下りていくと、朴の花が咲いていました。斜面の上からなので大木に咲いた大きな花がよく見えます。住宅地を歩きます。どの家も丹精した草木が美しく目を楽しませてくれます。春に咲く白い花を皆が楽しみにしている藤の花のおうちでは、ちょうど花が終わった後の手入れをしていらっしやいました。「枝をこっちに伸ばして、ぐるりと花が取り囲むようにしたいの」というお話に、来年の春がまた楽しみになりました。別のお宅では庭先から「ミニトマトが生ったら寄ってってよ」と声が掛かります。

真光寺川を渡って鶴川街道を渡って、キツネ窪緑地に入ります。よく整備された階段の途中に今日のお目当てのジャケツイバラの木が黄色い花を咲かせていました。私は初めて見る花でした。階段の上は平らな原っぱにな



ジャケツイバラ

っていてベンチが置いてあります。ここに座って一休み。木陰は涼しく、おやつを食べておしゃべりして、のんびりいい心地です。

今日は月2回のキツネ窪緑地整備の日ということで、ボランティアメンバーのNさんがいらっしやっていて、野草園として手入れしている一画を案内してくださいました。たくさんの種類の珍しい草木がいっぱい、ちょうどきれいな花をつけているものが多く、感心しながら見とれました。

ここの整備は30年前に鶴川6丁目自治会を中心に始まったということです。初めは通称お化けマンションの瓦礫がごろごろして大変だったとか。ご苦労されたと思いますが、30年という歳月をかけて居心地のいい宝物のような場所を作られたこと、本当に素敵だと思います。
(蔦谷)

【緑地の樹】

コゴメウツギ

プロフィール：バラ科コゴメウツギ属の落葉低木

サクラ広場から花広場に行く途中の山道沿いに、コゴメウツギがあります。モミジのような切れ込みのある葉ですが、花が咲いていないとあまり気づかずに通り過ぎてしまいます。でも、この葉、若い時は食用になるそうです、どうやって食べるのでしょうか。

コゴメ（小米）と言うだけあって、本当に小さい花ですが、虫めがねでよく見るとおもしろい形をしています。長い花びらと短い花びら（実は、ガクらしい）が交互にでていて、丸く並んだ黄色い雄しべもかわいいですね。

（小川）



コゴメウツギの木と花



子ども達に緑地の紹介をしました

5月16日（金）鶴川第二小学校四年生のスキル科授業で、西緑地の説明をした。今年度から四年生全員が緑地を学ぶことになった。樹の会から4名が出席し0さんが映像を写しながら緑地の概要を話した。

その後質問を受けたが、緑地の樹の本数やどんな動物がいるかなどをきかれた。毎年のことだが危険生物に興味が集まる。

緑地には複数で、長袖長ズボンで来るようにとの注意や蛇や蜂に出会ったら静かに後ずさりすることなどを話す。よく聞いてくれたようで、19日（月）に実際に緑地訪問があったが、スライドで見たクサイチゴの実や階段の手すりや竹で作られていることを見つけたそう。

また午後には、たまたま緑地にいた樹の会会員が二人の児童を見かけた。彼らは長袖長ズボン姿で遊びに来ていて、「スズメバチを見かけたが静かに後ずさりした」と話してくれたそう。

これから約一年間を通じて緑地を訪れ様々な楽しいことを見つけて欲しい。

（宇野）



緑地訪問